

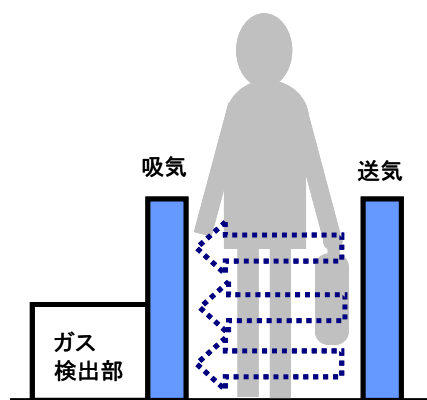
(別添)

1. ウォークスルー型爆発物探知システムの概要

手製爆発物から発せられる蒸気に対し、2～3秒で反応するシステムです。送気部から温風が送られ、人体付近を通った空気を吸気部から吸引します。吸引された空気は、検出部に送られます。検出部では、空気に含まれる化学物質の成分を詳細に調べ、手製爆発物に由来する信号が検出された場合にはデータが記録されます。このような方法により、装置を通過する際に、手製爆発物の有無について探知を行います。

なお、今回の試験では、駅を利用するお客様から誤って危険物の信号を得る「誤検出」がないように駅の構内環境での動作状況の確認（ホコリの影響など）をします。今回の試験は体や服に付着する化学物質の中から、危険物の成分を見分けるための試験ですので、爆発物や危険物は一切使用しません。

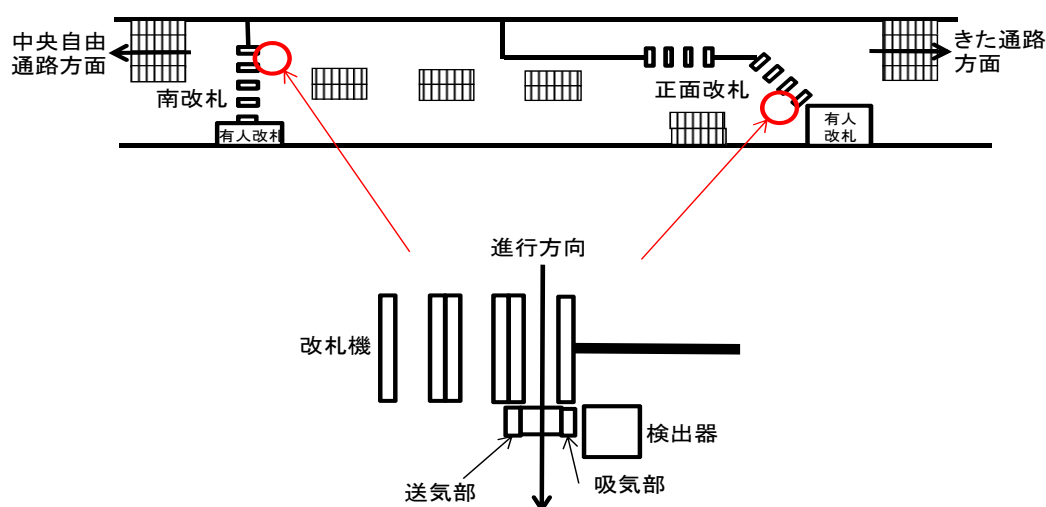
探知システムイメージおよび試作装置



(目標探知速度：毎時1200人)



2. ウォークスルー型爆発物探知システムの設置場所



3. 実証試験についての留意事項

装置の前に立ち止まる必要はありません。素通りしてください。装置通過時に温風が当たりますが、この温風は駅構内の空気であるため、人体への影響はありません。

不安に感じる方には、無理に通っていただく必要はありません。

また、プライバシーにかかわるデータは、一切取得いたしません。